

JICの投資先ファンド一覧



産業競争力強化法改正（令和6年12月25日）後の投資基準に基づく投資先ファンド（1～22）

No.	公表日	ファンド名	JIC 投資額*	ファンド概要	国内投資・ イノベーション	スタート アップ	地方の経営 資源活用	事業再編
1	2026年8月7日	Red1号ヘルスケア投資 事業有限責任組合	20億円	ヘルスケア分野を中心に投資するRed Capitalの初号ファンド。バイオテック、医療機器、ヘルスケアサービス等のヘルスケア領域におけるスタートアップを投資対象とし、研究開発が応用研究から後期開発段階にあるスタートアップを支援する方針。	✓	✓		
2	2026年7月31日	Globis Fund VIII, L.P.	24億円	積極的なハンズオン支援型の投資スタイルにより国内VCの中でトップ水準の投資実績を誇る。グローバルVCに匹敵する成長支援機能を備えた国内VCのロールモデルとなり、日本発グローバルユニコーンの創出を目指すとともに、グローバル市場で競争力を持つディープテック・スタートアップの創出に貢献する。	✓	✓		
3		Globis Fund VIII-S, L.P.	16億円					
4	2026年7月29日	Transpose Platform BOV III Cayman, L.P.	50百万米ドル	米国で設立され、多数のユニコーンやデカコーンの創出を支援してきた実績を有するTransposeが運用するファンドオブファンズ。世界屈指のアクセラレーターであるY Combinatorが運用するファンドを投資対象としており、同社との関係性を生かし、日本発グローバルユニコーンの創出や、国内スタートアップ・エコシステムの強化を企図。	✓	✓		

5	2026年5月19日	General Atlantic Investment Partners 2025, L.P.	50百万米ドル	成長企業に資本と戦略的支援を提供し、ハンズオンの成長支援やグローバルネットワークを生かした国内スタートアップの海外展開支援を行う。国内スタートアップへの投資実績を有し、国内VCとの共同投資機会の創出や海外ネットワークとの接続により、国内エコシステムの発展を企図。	✓	✓
6	2026年5月8日	日本産業推進機構4号投資事業有限責任組合	140億円	製造業、ヘルスケア、教育、ホテル/不動産サービスなどを主要投資領域に、業界再編に繋がるカーブアウトや中長期の成長投資を通じて産業競争力強化に寄与する案件への投資を行う。カーブアウト、非公開化、事業承継等、多様な投資局面に対応してきた実績を踏まえ、より大型の投資案件に重点を置いた体制を構築する。	✓	✓
7	2026年4月24日	ポラリス第六号投資事業有限責任組合	120億円	技術・製造、医療・ヘルスケア・福祉、IT・サービス・物流、消費財・小売業界等を対象に、業界再編に繋がるカーブアウトや中長期の成長投資を通じて産業競争力強化に寄与する案件への投資を行う。カーブアウト、非公開化、事業承継等に対応してきた実績を踏まえ、大型案件への投資をこれまで以上に推し進める予定。	✓	✓

8	2026年4月21日	GLIN Impact Capital 2号 投資事業有限責任組合	30億円	グロースステージのスタートアップに投資し、企業価値向上や、その実現に資する社会インパクトの創出を支援。気候変動やヘルスケア、包摂的な社会づくりに関わる領域などで、事業成長や、その成長に資する社会的インパクトの創出を目指すスタートアップへの投資を拡大することで、大きく成長するスタートアップのロールモデルの創出、さらには課題解決型イノベーションが自律的かつ継続的に生まれる好循環の創出を企図。	✓	✓
9	2026年3月13日	KUC2号投資事業有限責任組合	15億円	神戸大学の連携ファンドとして神戸大学や神戸医療産業都市、神戸市を中心に地方の大学研究機関や自治体との連携を強化し、将来性のある技術シーズを活かした有望なスタートアップの創出に積極的に取り組んできた実績を有する。地方に眠る将来性のある経営資源を活用したディープテック・スタートアップへの投資に注力する方針。	✓	✓ ✓
10	2026年3月11日	New Enterprise Associates 19, L.P.	60百万米ドル	1977年に米国で設立され、100社超のユニコーン創出の実績とグローバルで最大規模の運用総額を有する。国内発のグローバルユニコーン創出に向け、テクノロジーおよびヘルスケア領域において、アーリーステージからグロースステージまで一貫した支援を行う。国内における投資案件の発掘に加え、国内VCおよびスタートアップとの対話を通じたナレッジ共有等により、国内スタートアップエコシステムの知見や支援能力向上を企図。	✓	✓
11		NEA 19 Venture Growth Equity, L.P.	40百万米ドル			

12	2026年2月2日	Lux Ventures IX, L.P.	50百万米ドル	シードからアーリーステージを中心にディープテック領域への投資を行う。足元のトレンドに左右されず、今後5から10年後に社会実装が見込まれる次世代先端技術を見極めて投資し、有望なスタートアップを早期から支援。国内VCおよびスタートアップとの対話を通じたナレッジシェア等により、国内スタートアップエコシステムの知見や支援能力向上を企図。	✓	✓
13	2026年1月14日	Minerva Growth Partners II LP	30億円	ユニコーン創出に向けてリスクマネーが不足しがちなグロースステージへの資金供給に注力する。テクノロジーセクターの企業を主な投資対象とし、リスクマネーの供給を拡大することで、新規上場前の国内スタートアップの成長曲線を押し上げることを目指す。	✓	✓
14	2025年10月31日	JIC PEファンド2号投資事業有限責任組合 (PEF2)	6,000億円	成長型経済への移行・持続に向け、Society 5.0の実現や世界的な社会課題を解決するGX・DXによる新規事業・新産業の創造や国内産業の国際競争力強化、業界の再編といった、JICグループとして産業競争力の強化と社会にインパクトを与える投資を企図。	✓	✓
15		JIC PE共同投資ファンド2号投資事業有限責任組合 (PEFJ2)	2,000億円	上記PEF2と共に大型案件に対して共同投資を行う。	✓	✓

16	2025年10月29日	Kepple Liquidity 2号投資 事業有限責任組合	30億円	セカンダリー投資戦略の中でも、特に民間投資資金が不足しているダイレクト・セカンダリー投資に注力。ミドル・レイターステージのスタートアップを投資対象とし、小型IPO等のエグジットを余儀なくされていたスタートアップの成長曲線を一段と押し上げ、日本発のユニコーン創出につなげるための受け皿となることを目指す。	✓	✓
17	2025年6月27日	Genesia Venture Fund 4 号投資事業有限責任組合	35億円	プレシード／シード期を中心に投資を行う。日本発VCでありながら、東南アジアにおいて、日系企業と現地のスタートアップとの提携支援等を通じて、確固たる地位を確立し、インドにも進出。国内でもデジタル技術を用いて産業固有の課題に対応するサービスを提供する有望スタートアップを支援し、産業のDXの推進を企図。	✓	✓
18	2025年5月21日	mint startup fund 2号投 資事業有限責任組合	20億円	プレシード／シード期を中心に投資を行い、AIやブロックチェーン等の技術の実世界での活用を支援。起業家に対し、創業準備中や創業期に無料オフィス支援プログラムを通じて、起業家コミュニティへの参加や専門家・著名経営者とのネットワーキングの機会を提供するほか、エンジニア採用支援も行う。	✓	✓

19	2025年5月15日	Catalys Pacific Phase III Select Fund, LP（旧称：Catalys Pacific Post-POC Fund, LP）	14百万米ドル	Catalysの既存ファンドの投資先の中から、第3相試験まで進んだ薬の候補化合物を開発する創業スタートアップに投資を行い、新薬承認に至るまでの後期開発とそれ以降の商業化を支援。	✓	✓
20	2025年5月14日	MPower Partners Fund II L.P.	30億円	ミドル・レイターステージのスタートアップに対し成長資金を提供し、国内外のネットワークを活用して、事業支援を行う。多様性のある投資チームにより、既存ファンドで女性起業家等に多くの投資を行っており、本ファンドにおいても国内の経営人材の多様化への貢献を目指す。	✓	✓
21	2025年4月22日	RDiscovery Fund, LP	49百万米ドル (2026年5月15日変更)	アカデミアや研究機関、製薬会社等が有する先端創薬技術に対して、事業立ち上げの段階からの支援に重点を置く。主として、日本の創薬シーズに投資を行い、その商用化を目指す。アーリーステージのグローバル創薬スタートアップにも投資を行い、日本発のグローバル創薬スタートアップの支援においてその知見や経験を活用することを企図。	✓	✓

22	2025年3月27日	Japan Activation Capital II L.P.	250億円	国内の大手・中堅上場企業を投資対象とし、投資先企業の経営陣との信頼関係に基づく、長期的かつ持続的な成長と企業価値向上に向けた経営イニシアティブ支援型エンゲージメントファンド。投資先企業の上位株主として投資先企業に健全なリスクテイクや成長投資を促すことで、持続性のある企業価値増大や企業評価指標の向上を図り、日本経済を牽引する国内大手・中堅企業の企業活動の発展、日本経済全体での好循環の醸成を目指す。	✓	✓
----	----------------------------	----------------------------------	-------	---	---	---

産業競争力強化法改正（令和6年12月25日）前の投資基準に基づく投資先ファンド（23～71）

No.	公表日	ファンド名	JIC 投資額*	ファンド概要	Society5.0	ユニコーン	地方の技術	事業再編
23	2025年1月16日	リアルテックファンド4 号投資事業有限責任組合	20億円	エネルギー・宇宙・農業・医療・エレクトロニクス・新素材等、リスクマネーが不足するとされるディープテック分野への投資を全国的に推進。新技術の社会実装に向けた手厚いハンズオン支援や地方に眠る将来性のある技術を活用したスタートアップへの投資を通じ、地方におけるディープテック分野のスタートアップ・エコシステムの発展・醸成への貢献を企図。	✓	✓	✓	
24	2024年8月22日	Abies Ventures Fund II 投資事業有限責任組合	39億円 (2026年 4月21日 変更)	ディープテック領域に特化し、①ロボティクス／モビリティ、②高度情報処理／通信技術、③新素材／環境技術、④宇宙という4つの技術領域において、シード・アーリー期のスタートアップに投資を行う。投資先の海外事業展開支援や海外投資家からの資金調達支援を強みとし、グローバルユニコーンの育成を企図。	✓	✓		
25	2024年6月28日	BEE ACCELERATE FUND2 LP	30百万 米ドル	主にインドや東南アジアにおける、グロースステージのフィンテック、Eコマース、マーケットプレイス等のテクノロジー関連スタートアップ企業を幅広く投資対象とする。当ファンドの投資管理運営会社であるBEENEXTは、日本事業会社等とインド・東南アジア地域の投資先スタートアップとの業務提携等によるオープンイノベーション維持・強化にも注力。	✓			

26	2024年6月25日	Transpose Platform BOV II, L.P.	米国で設立され、多数のユニコーンやデカコーンの創出を支援してきた実績を有するTransposeが運用するファンドオブファンズ。世界屈指のアクセラレーターであるY Combinatorが運用するファンドを投資対象としており、同社等との関係性を生かし、日本のスタートアップ市場の活性化支援を企図。	✓	✓
27	2024年5月16日	Headline Asia V, L.P.	50百万米ドル (2025年3月24日変更) グローバルVC「Headlineグループ」において日本を中心とするアジア地域を投資対象とし、グローバルネットワークを活用しながら日本国内のスタートアップを支援。アジア地域の投資先スタートアップと日本事業会社等の業務提携等によるオープンイノベーション維持・強化にも注力。	✓	✓
28	2024年4月26日	Spiral Capital Japan Fund 3号投資事業有限責任組合	52億円 (2025年12月26日変更) ユニコーンの創出を目指し、フィンテック・ヘルスケア・スマートインフラ・AIを重点投資セクターとしつつ、ディープテック領域にも投資を行う。また、投資先スタートアップと国内事業会社等によるオープンイノベーションを推進	✓	✓

29	2024年4月19日	MPI-3号投資事業有限責任組合	45億円 (2025年 7月31日 変更)	日本の大学や研究機関、事業会社の技術シーズと医療現場でのニーズを基にインキュベーションを行い、国内外の医療現場で使われる医療機器を開発する日本発のスタートアップの創出を企図。国内の医療機器関連産業におけるオープンイノベーションを促進し、国内の医療機器エコシステムの発展に寄与することを目指す。	✓	✓
30	2024年4月11日	RGCM1号投資事業有限責任組合	48億円 (2026年 3月25日 変更)	数年内のIPOが見込まれるミドル・レイターステージのスタートアップを投資対象とし、既存株主持分を直接セカンダリーで取得する「ダイレクトセカンダリー戦略」を掲げる。小型IPO等のExitを余儀なくされていたスタートアップの成長曲線を一段と押し上げ、日本発のユニコーン創出につなげるための受け皿となることを目指す。	✓	✓
31	2024年2月29日	Atomico Venture VI SCSp	20百万 米ドル	欧州でテクノロジー分野を中心に投資を実行し、数多くのユニコーン創出に貢献。日本のスタートアップや日本人が	✓	✓
32		Atomico Growth VI SCSp	30百万 米ドル	欧州で起業したスタートアップに対しても投資実績があり、日本での投資検討や、日本のスタートアップ・エコシステム発展への貢献を企図。		

33	2023年12月18日	DBC1号投資事業有限責任組合	28億円 (2024年 11月27日 変更)	独自のネットワーク等を生かし、プレシード／シード期のスタートアップに対する投資に注力。特に、技術革新により市場の変化が起きている分野や、既存産業においてAI等の新たなテクノロジーやビジネスモデルを競争優位とする事業を行うスタートアップを支援し、新規事業創出の推進に取り組む。	✓	✓
34	2023年12月4日	AN Venture Partners I, LP	97百万 米ドル (2025年 6月30日 変更)	ライフサイエンス領域でグローバル・スタートアップ創出を企図。同領域で30年以上の投資実績を誇る米国のARCH Venture Partnersとのアライアンスの下、米国のエコシステムを活用し、国内の優れた科学技術シーズの社会実装を目指す。	✓	✓
35	2023年10月31日	KII3号インパクト投資事業有限責任組合	30億円	大学や研究機関等との連携を通じて、アカデミアに眠る技術シーズを活用した有望なスタートアップの創出に貢献するべく、ディープテック領域への投資に注力。 社会課題解決型スタートアップへの投資・モニタリング体制を整え、インパクト投資にも取り組む。	✓	✓

36	2023年8月10日	Kepple Liquidity 1号投資事業有限責任組合	49億円 (2024年 5月31日 変更)	数年内のIPOが見込まれるミドル・レイターステージのスタートアップを投資対象とし、既存株主持分を直接セカンダリーで取得する「ダイレクトセカンダリー戦略」を掲げる。小型IPO等のExitを余儀なくされていたスタートアップの成長曲線を一段と押し上げ、日本発のユニコーン創出につなげるための受け皿となることを目指す。	✓	✓	
37	2023年8月4日	みやこ京大イノベーション3号投資事業有限責任組合	20億円	アカデミア発ディープテック・スタートアップにリスクマネーを供給。シード・アーリーステージから支援し、技術系スタートアップの育成や地方に眠る将来性ある技術の活用を目指す。	✓	✓	✓
38	2023年7月31日	JICVGI オポチュニティファンド 1 号投資事業有限責任組合	400億円	ダイレクトセカンダリー投資および上場済みスタートアップに対する成長資金の供給を通じて、ユニコーンの創出や上場済みスタートアップの持続的かつ飛躍的な成長の支援の受け皿となることを目指す。	✓	✓	

39	2023年4月21日	Vertex Ventures (SG) SEA V LP	30百万 米ドル	世界14拠点でファンドを運営するVertexグループにおいて、東南アジア・インドを投資対象とするファンド。将来的な海外展開を視野に入れるアーリーステージのスタートアップに対し、事業会社との連携等を含め、ハンズオン支援を行う。	✓	✓
40	2023年2月24日	Archetype Ventures3号 投資事業有限責任組合	30億円	シード期のスタートアップのうち、主にB2B領域で、プロダクトはあるものの収益化に至っていない段階の企業を支援。徹底したハンズオン支援で将来のユニコーン候補の拡大に寄与。ディープテック領域への投資も推進。	✓	✓
41	2023年2月6日	Saisei Bioventures, L.P.	30百万 米ドル	主に、細胞・遺伝子治療や再生医療を中心としたライフサイエンス領域を投資対象とし、シード、アーリーステージのスタートアップを中心に投資を実施。国内事業会社やアカデミア等有する技術や研究成果について、米国のエコシステムを活用し、その事業化を目指す。	✓	✓

42	2023年1月31日	New Enterprise Associates 18, L.P.	50百万 米ドル	1977年に米国で設立され、100社近いユニコーン創出の実績とグローバルで最大規模の運用総額を有する。テクノロジーおよびヘルスケア領域において、アーリーステージからグロースステージまで一貫した支援を行う	✓	✓	
43		NEA 18 Venture Growth Equity, L.P.	50百万 米ドル				
44	2022年12月16日	JIC ベンチャー・グロース・ファンド2号投資事業有限責任組合	2,000億円	グロースステージのスタートアップへの支援を主戦略とする1号ファンドの投資戦略を踏襲しつつ、ディープテック・ライフサイエンス領域のアーリーステージ以降のスタートアップへの支援を強化。ユニコーン創出・Society 5.0実現を企図。	✓	✓	✓
45	2022年12月15日	KUSABI 1号投資事業有限責任組合	26億円	独自のアクセラレーションプログラムによるソーシングなどを通じ、プレシード／シード期からの垂直統合型支援により「ユニコーン」を含めた1兆円企業の輩出を目指す。	✓	✓	

46	2022年12月9日	Spiral Capital Japan Fund 2号 投資事業有限責任組合	30億円	ユニコーンの創出を目指し、フィンテック・ヘルスケア・スマートインフラを重点投資セクターとしつつ、ディープテック領域にも投資を行う。また、投資先スタートアップと国内事業会社等によるオープンイノベーションを推進。	✓	✓
47		DNX Partners Japan IV, LP	60億円	日本と米国に拠点を持ち、SaaSモデル導入によるディープテックの社会実装等、Society 5.0に向けたディープテック領域の新規事業の創造を企図。また、米国市場の知見を活かした、国内スタートアップの海外進出支援を推進。	✓	✓
48	2022年10月12日	DNX Partners Annex Japan III, LP	30億円	既存ファンドの投資先のうち、有望なスタートアップに対してフォローオン投資を行い、新規上場前の更なる成長を促す。海外進出支援を推進しつつ、SaaS領域を中心としたユニコーン創出を目指す。	✓	✓

49	2022年9月16日	EEI 5 号イノベーション & インパクト投資事業有限 責任組合	62億円 (2023年 12月26日 変更)	環境エネルギー特化型ファンドとしてEnergy Transition、 Mobility & Transportation 及び Smart Societyの3つの投資領 域を設定し、当該領域で脱炭素を中心に持続可能な社会の 実現に貢献する革新的なビジネスモデルや技術を有するス タートアップに対して投資を行う。	✓	✓
50	2022年8月23日	WUV 1 号投資事業有限 責任組合	30億円	アカデミア発ディープテック・スタートアップの支援を通 じて、大学等有する技術シーズの社会実装を促す。海外 の大学、研究機関やVCとの連携などにより、投資先スター トアップのグローバルでの研究開発や事業展開を推進。	✓	✓
51	2022年7月20日	ANRI 5 号投資事業有限 責任組合	50億円	ディープテック領域や、デジタル技術によりサイバー空間 とフィジカル空間の融合を促進する領域にリスクマネーを 供給。プレシード/シード期の研究開発型スタートアップ に対する人材面の支援を行うほか、女性のキャピタリス ト・起業家の育成を通じたエコシステムのダイバーシティ 推進も企図。	✓	✓

52	2022年7月6日	Catalys Pacific Fund II, LP	50百万 国内製薬会社等から有望な化合物を導出し、グローバルで米ドル 開発を推進。創業スタートアップとの協業によるオープンイノベーション創出に関する知見共有・人材育成を通じ、創業スタートアップ・エコシステム醸成に寄与。 (2024年8月8日変更)	✓	✓
53	2022年7月5日	グロービス7号ファンド 投資事業有限責任組合	企業価値として数千億円から1兆円規模に成長する、日本を代表するスタートアップの輩出を目標とした投資戦略を掲げ、その中で、日本発のグローバルユニコーン創出を目指す。また、グローバルユニコーンを生み出す国内VCのロールモデルを目指す。	✓	✓
54		グロービス7号Sファンド 投資事業有限責任組合			
55	2022年6月10日	Apricot Venture Fund 2号投資事業有限責任組合	20億円 プレシード/シード期のスタートアップへの投資に注力し、新規事業にチャレンジする起業家を積極的に支援。デジタル技術を中心に、Society 5.0に向けた新規事業・新産業の創造に資する分野への投資にも取り組む。	✓	✓

56	2022年5月11日	DIMENSION2号 投資事業有限責任 組合	30億円	デジタルビジネス、ヘルスケア、ディープテック等の領域 のスタートアップに投資。MBOやスピンアウトによるス タートアップの設立支援など、オープンイノベーションの 促進、新規事業の創造にも取り組む。	✓	✓	
57	2022年4月15日	QB第二号 投資事業有限責任 組合	25億円	九州を中心として、九州大学ほかの地方大学との関係を築 き、連携を強化することで、地方に眠る技術シーズの掘り 起こしに積極的に取り組み、地方大学発の技術系スタート アップに対する投資を実施。	✓	✓	✓
58	2025年4月5日	IAパートナーズ1号 投資事業有限責任 組合	100億円	主にエレクトロニクス、化学、ヘルスケア、物流および消 費財等の中堅企業を対象としたカーブアウト・ロールアッ プを主軸とした投資戦略。日本が国際競争力を持ちうる事 業分野における、既存企業による産業や組織の枠を超えた 事業再編に取り組む。			✓

59	2022年3月7日	WiL Ventures III, L.P.	100百万 米ドル	東京と米国シリコンバレーに拠点を有し、国内外の有望なスタートアップに投資。国内事業会社等への啓蒙・支援活動を通じてオープンイノベーションの促進を図ると共に、海外の拠点・ネットワークを活用し、国内事業会社等と海外スタートアップとの事業提携等の創出を図る。また、国内投資先に対する海外展開支援等により、日本発ユニコーン企業の創出にも取り組む。	✓	✓
60	2022年1月31日	Genesisia Venture Fund 3号投資事業有限責任組合	71.5億円 (2023年 3月31日 変更)	国内の独立系VCとして、プレシード/シード期のスタートアップに積極的に投資。東南アジアの日系企業と現地スタートアップとの提携支援等に取り組む数少ないファンドの一つ。現地のスタートアップエコシステムに参入し、業務提携や資本提携を締結させるなどの実績を有する	✓	✓
61	2022年1月26日	ANRI-GREEN 1号投資事業有限責任組合	40億円 (2023年 6月30日 変更)	先行投資と長期の運用を伴う、Climate Tech領域のディープテック・スタートアップへ投資。同領域における民間投資資金の流入や、産業の育成、アカデミア発のスタートアップへの支援を通じた研究開発や社会実装の推進を企図。	✓	✓

62	2021年12月24日	Sozo Ventures III, L.P.	50百万 米ドル	北米の有力スタートアップに対する投資と、日本の事業会社に対する事業提携の機会の提供等を主軸とした投資戦略。米国内外のスタートアップ、スタートアップエコシステム、アカデミアに深いつながりを持ち、スタートアップの国際展開支援に取り組む。	✓			
63	2021年12月13日	UC ヘルスケア・プロバイダー 共同投資事業有限責任組合	240億円	地域の医療機関やヘルスケア事業者に対する支援を行うとともに、各関係機関の連携を図り、ヘルスケア業界における生産性の向上と、質の高いヘルスケアの効率的な提供に寄与。国内初の総合ヘルスケア・プロバイダーの創出を目指す。	✓			✓
64	2021年12月3日	DRONE FUND3号投資 事業有限責任組合	30億円	世界でも珍しいドローン・エアモビリティ特化型 VC。ハード・ソフト両面に加え、ドローン関連サービスや、ドローンに応用可能なテクノロジーの開発・提供を支援。地方発の案件発掘にも注力。	✓	✓		✓

65	2021年5月7日	みやこ京大イノベーション2号 投資事業有限責任組合	アカデミア発ディープテック・スタートアップにリスクマネーを供給。Society5.0の実現に向けた高度な専門技術の開発や社会実装を支援。各地の大学との連携により、地方に眠る将来性ある技術の活用と技術系スタートアップのエコシステム醸成に貢献。	41億円	✓	✓	✓
66	2021年4月19日	ANRI 4 号 投資事業有限責任組合	ディープテック領域やインターネットとディープテックの融合領域にリスクマネーを供給。研究開発型スタートアップに対する人材面での支援を行うほか、女性キャピタリストや女性起業家の育成を通じたエコシステムのダイバーシティ推進も企図。	29.5億円	✓	✓	
67	2021年2月26日	Catalys Pacific Fund, LP	国内製薬会社や大学等から化合物を導入し、グローバルでの開発を実施。創薬スタートアップとの協業によるオープンイノベーション創出についての知見共有や人材育成により創薬エコシステム醸成に寄与。	30百万 米ドル	✓	✓	

68	2020年12月8日	Beyond Next Ventures 2号投資事業有限責任組 合	医療・ヘルスケア分野をはじめ大学・研究機関・企業の有 40億円 する優れた技術シーズの事業化に注力。産学連携による技 術系スタートアップへのインキュベーション投資を実施。	✓	✓	✓
69	2020年9月9日	JIC PEファンド1号 投資事業有限責任組合	大規模・長期・中立的なリスクマネー供給を通じて、 2,000億円 Society 5.0 の実現に向けた新規事業・新産業の創造、国内 産業の国際競争力強化、業界の再編を企図。	✓		✓
70		JIC PE共同投資ファンド 1号投資事業有限責任組 合	9,000億円 (2022年 10月27日 変更決定) 国際競争力強化に向けた大規模な事業再編に際して、JICと の共同投資を実施。	✓		✓
71	2020年7月8日	JIC ベンチャー・ グロース・ファンド1号 投資事業有限責任組合	ベンチャー・グロース領域に十分なリスクマネーを供給 し、呼び水効果、業界連携、オープンイノベーション促進 による日本の国際競争力向上、産業及び社会の課題解決を 企図。 1,200億円	✓	✓	✓